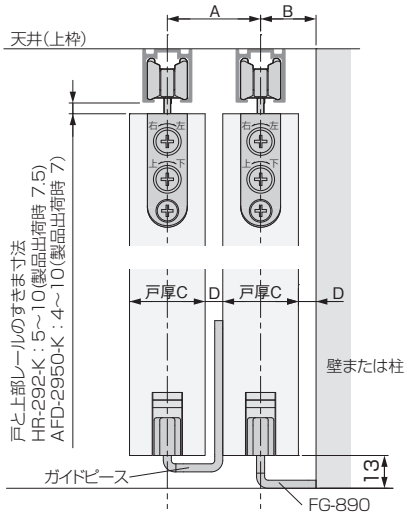
連動引戸金具 FG-800

使用条件 本文322ページをご参照ください。

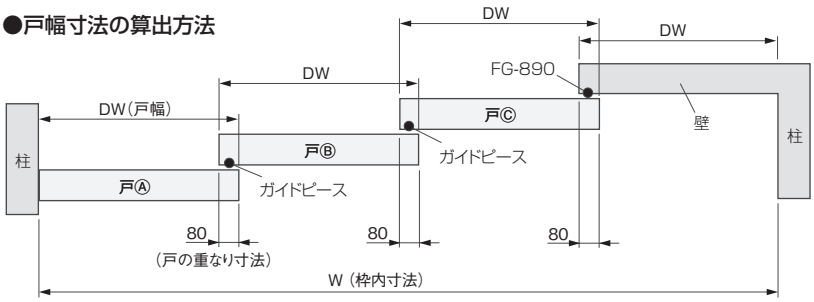
設計ガイド

■金具の納まり参考図

●上下および側面の納まり寸法



●戸幅寸法の算出方法



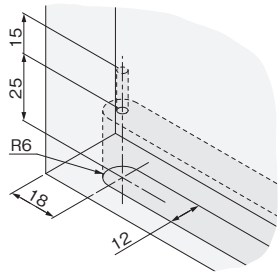
※戸の重なり寸法は、引戸を連動させるために必要な寸法です。

$$戸幅\ DW = \frac{枠内寸法\ W + (戸の枚数 \times 80)}{戸の枚数 + 1}$$

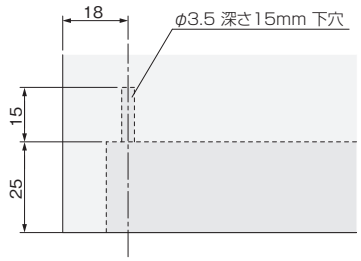
ガイドピース	A	B	戸厚C	D	F
FG-880	37	22	30	7	(20.5)
FG-880-24	39	24	30	9	(22.5)
	40	23.5	33	7	(22.0)
	42	24	36	6	(22.5)

ご注意
- ●正常に引戸を連動させるために、床と戸の隙間は13mmになるようにしてください。
- ●吊り車の上下調整を行う際に、ガイドピースが戸や床に接触しないようにしてください。また、FG-890と戸が接触しないようにしてください。
- ●幅1に対する高さの比率が5を超える引戸を使用して連動させた場合、動作が不安定になる場合があります。

■戸下面の加工寸法図

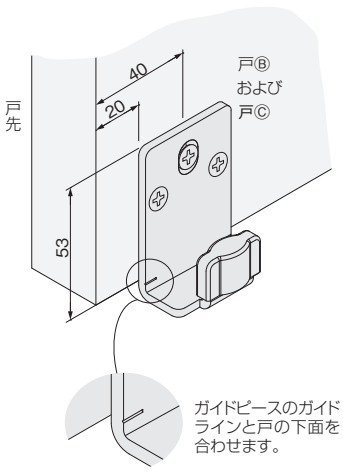


下穴加工

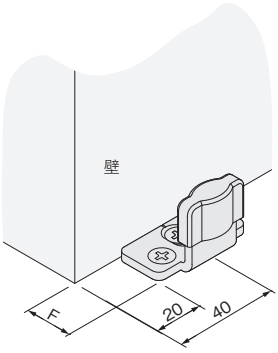


■金具の取付け位置

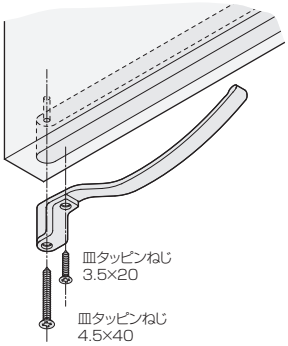
●ガイドピースの取付け（戸Ⓑと戸Ⓒの戸先側）



●FG-890の取付け



●FG-870の取付け



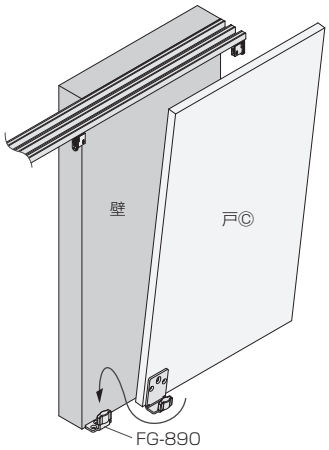
ご注意

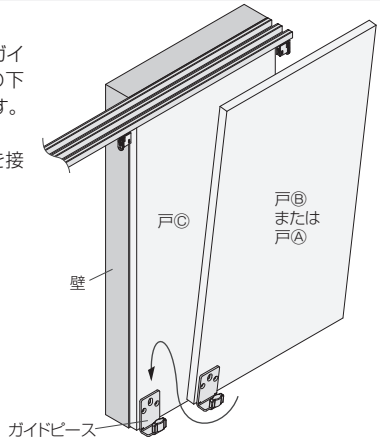
手回しドライバーで取付けてください。
締付けすぎると、変形します。
また、FG-870の先端が浮き上がらないように取付けてください。

施工ガイド

■戸の吊込み

①戸Ⓒの下部溝をFG-890（床付ガイド）に被せるように上部レールの下に設置します。
②戸とレール内の上部吊り車を接続します。



③戸Ⓒの先端に取付けてあるガイドピースに戸Ⓑまたは戸Ⓐの下部溝を被せるように設置します。

④戸とレール内の上部吊り車を接続します。